

とっくりがま



発行：放送大学山口学習センター 2022年7月発行 第99号

— 目次 —

■『所長就任挨拶』	山口学習センター所長 杉浦 崇夫	1
■『身近な環境問題を知る』	山口学習センター客員教員 阿部 新	2
■『学び続ける学生さんとともに』	山口学習センター客員教員 内田 仲	3
■『人のこころを見つめ続けて』	山口学習センター客員教員 大石 英史	4
■『卒業研究を履修して～生涯研究の時代に』	全科履修生 傍田 裕子	5
■事務室からのお知らせ		6
■7月～9月のスケジュール		11



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。



〒753-0841 山口市吉田 1677-1
(山口大学吉田キャンパス大学会館 1F)

T E L : 083-928-2501

F A X : 083-928-2503

E-mail : yamasc35@ouj.ac.jp

ウェブサイト : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/>



学習センターの利用時間

◆ 9:30～17:00

2022年7～9月の閉所日

◆ 毎週月曜日、祝日

◆ 特別閉所日：7月22日(金)

8月12日(金)～8月14日(日)

『所長就任挨拶』

山口学習センター所長 すぎうら たかお
杉浦 崇夫



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在学生の皆さん、新年度を迎え、心新たに向学心に燃えていらっしゃると思います。本年四月より、岡村康夫山口学習センター長の後任として所長に就任いたしました杉浦崇夫と申します。自己紹介を兼ねて、ご挨拶申し上げます。

私は大学院修了後、一昨年度まで41年間に亘り、山口大学で教育・研究に携わってきました。この度、10代の若者から100歳を超える方まで幅広い年代の方が学んでいる放送大学に関わらせて頂く機会を得ましたことを大変喜ばしく思っています。これまでの経験を活かし、少しでもみなさんのお役に立てればと考えています。

私の専門分野は運動生化学です。一過性の運動やトレーニングによって体の中に起こる化学的変化について検討する学問領域です。わが国では、1964年に開催された東京オリンピック前後から身体運動を科学的にとらえられるようになり、これまで運動の場面において「勘」だとか「経験」に頼っていたことが分析方法の発展に伴って数多くのエビデンスが蓄積され、身体運動がより客観的かつ具体的にとらえられるようになり、実際の運動場面において活用されています。

運動生化学といっても対象にする領域は広く、私は前任校に就職してからは骨格筋を対象に、発育や加齢、ホルモン環境の変化そして運動トレーニングの変化について筋の収縮に直接かかわる収縮タンパク質であるミオシンや代謝酵素活性を指標に研究してきました。一昔前までは、骨格筋の働きは運動や産熱に留まっていたのですが、最近では全身性の代謝調節あるいは筋量の維持が種々の疾病を防ぎ健康の保持増進にも関与していることが分かってきました。私の研究テーマも高齢者の健康を保持するために、いかにして加齢に伴って起こる筋の萎縮（サルコペニア）を防げるかといったようなテーマに代わってきました。自分自身を実験台に週3日程度のジョギングに加え最近では「ながら筋トレ」を実践してはいるものの現実には理論通りにはいかず、理論と実践の在り方に思い悩んでいるところです。実現できるとは思っていないですが、このような点を明らかにし、形にすることが学びの面白さの一つと思っています。

放送大学はテレビやラジオ、インターネットを主たる媒体とし、時間や場所を問わずに学べる大学ですが、学習センターは、それらだけでは味わえない「学びの場」を提供できるものと確信しています。有意義な学生生活にするためにも学習センターを大いに利用していただければと思います。

『身近な環境問題を知る』

山口学習センター客員教員 ^{あべ}阿部 ^{あらた}新



こんにちは。本年4月より、山口学習センターの客員教授をさせていただいております阿部新と申します。専門は環境経済学で、主に廃棄物やリサイクルの制度や産業について経済学的な視点から研究をしております。とりわけ自動車を事例とし、グローバルに流通する自動車のリサイクルを研究してきました。

私は15年ほど前に山口に来ました。新しい土地に住むというのは、とてもワクワクするものです。私は、時間を見つけては、県内の様々なところを見て回りました。その際に、山口県の環境問題としてどのようなものがあるのかに興味を持ちました。環境問題と言うと、高度経済成長期の公害のようなものを思い浮かびます。公害は全国各地で起こりましたが、山口県のものはありませんでした。

私は県内の各地域の図書館を回りました。それらを見てみると、工業地帯を抱える県だけにどこの都市でも公害があったことがわかりました。また、宇部市のように早い段階で公害対策を行った事例もあることがわかりました。数は少ないですが、山口県の公害に関する書籍、雑誌記事もあります。それらはあまり知られていないのが実態です。私はそのような実態について大学生と一緒に勉強してきました。

また、過去の実態のみならず、現代の山口県の環境問題についても勉強しました。例えば、海岸の漂着ごみの問題です。ご存じの方も多いかと思いますが、昨今はプラスチック廃棄物と漂着ごみの問題は社会の関心を集めております。山口県の漂着ごみは、私が山口に来た2008年の時点ですでに問題になっておりました。私は大学生と一緒に日本海側の海岸に行き、漂着しているペットボトルのふたを調査し、その処理費用の負担のあり方などを議論しました。

これ以外でも、里山保全、食品ロスなど身近な地域における環境問題があります。それらは農業ほか基盤となる産業と密接に関係しており、産業のあり方も含めて地域経済をトータルに考える必要があります。その際に地域の資源をいかにして循環させ、経済を成り立たせるかを考えることが重要になってきます。それは循環経済（サーキュラーエコノミー）と呼ばれるもので、昨今、欧州から広がっている考え方です。

また、地域経済は往々にしてグローバル経済と繋がっています。経済のグローバル化は一般的にわれわれの生活を豊かにさせますが、昨今の感染症や国家間の緊張のようにカントリーリスクを伴います。そのような中で、どのように循環経済を作っていくか。それは皆さんと一緒に議論をしていきたいと思っております。

『学び続ける学生さんとともに』

山口学習センター客員教員 うちだ なか
内田 仲



4月よりお世話になります客員教員の内田 仲（うちだ なか）と申します。長年、高等学校において教鞭をとっており退職後、縁あって放送大学山口学習センターに勤務することになりました。

山口学習センターでは、10代から80代までの幅広い年齢層の学生さんが在籍されており、お会いできることをとてもうれしく思います。

常々、学び続けるということ自分自身も実現したいと思っていました。どのような形でも良いのですが、忙しい事を理由に具体的な行動をとっていませんでした。それが、思わず学生さんとの出会い、ともに学習できる機会を得てとてもワクワクしています。約300科目開設されていますので、私も、実際学生としても入学し、興味のある科目を受講しています。

「学ぶ意欲があれば何歳までも何度でも」という放送大学のフレーズがいつも頭をよぎります。やっと私もその時が来たと思っています。ただし、簡単に「学ぶ」と言うことは言えますが、一人での学習は、仕事や体調により困難なこともあります。とても孤独でもあります。そんな時は、学習センターを利用してください。いつでも対応できます。

ところで、私の専門は家政学ですので、日常の生活の中での様々な問題を取り上げ学生さんと共に考えていきたいと思えます（具体的には、衣生活（被服、繊維等）、食生活（食物、栄養等）、消費生活（家庭の経済、家計簿等）、SDGsなど）。1学期は、公開講座がありませんので直接講座ではお会いできませんが、今後機会があれば行いたいと思えます。

また、放送大学での単位の取り方や資格に関する説明などご相談に乗りたいと思えます。私は、毎週土曜日午前中に学生相談室におりますので、お声をかけてください。お待ちしております。

最後になりましたが、趣味は旅行（3年間国内および海外旅行には行くことができませんでしたが）、園芸、食べ歩きです。どうぞよろしく願いたします。

『人のこころを見つめ続けて』

山口学習センター客員教員 おおいし えいじ 大石 英史



皆さん、はじめまして。この4月から山口学習センターに客員教授としてお世話になります大石英史（おおいし えいじ）と申します。

私は生まれも育ちも山口県で、大学は九州大学ですが、卒業後に山口県にご縁があり、下関市立大学に4年、山口大学教育学部に23年半勤務しました。その後は鹿児島大学に3年半赴任しましたが、再び山口県に戻って参りました。

本業は大学の教員ですが、これまで長年にわたり、臨床心理士として様々な人たちの心の支援に携わってきました。病院臨床では統合失調症の患者さんのケア、学生相談では摂食障害を持つクライアントさんのカウンセリング、スクールカウンセラーとしては不登校や発達障害のある子どもたちや保護者の支援、産業臨床ではうつ病からの復職支援などに取り組んできました。立場としては、人間理解を基盤に据えたパーソンセンタード・アプローチを専門としています。

支援や援助という言葉はよく使われますが、人の苦しみに寄り添える人になるのは、実際にはなかなか難しいことです。まず、自分を知ること、それを通して人の苦しみをどこまで当事者性をもって理解していけるかが問われることとなります。

クライアントさんの病理や障害がどのようなものであっても、カウンセリング場面においてカウンセラーがどのように在る(居る)ときにクライアントさんの健康な力が最もよく引き出されるのかを、ロジャーズの中核3条件を手がかりに、様々な事例を通して検証していくことが私の研究です。学生時代の指導教官である村山正治先生の「臨床ができなければ臨床心理学を研究することなどできないよ」という言葉を今も大切にしながら、臨床実践に励んでいますが、還暦を過ぎてもまだまだ自分の人生に迷い、いつもあれやこれやと悩んでいます。ただ、自分が悩むことは、援助活動においても生かせるものです。最近では、一対一の個人臨床だけでなく、グループでの対話実践を通して、人の心に寄り添い、向き合っていくオープンダイアログという手法を活用したネットワークづくりにも関心があります。

この度、放送大学のお仕事にご縁をいただけたのは自分にとって大変有難いことです。人生の中で学びたくなった時がその時です。人の心について考えたい人、人の援助をしたい人たちのお役に立てたらと思っています。皆さんとの出会いを楽しみにしています。

『卒業研究を履修して～生涯研究の時代に』

全科履修生 そばた 傍田 ゆうこ 裕子

「卒論が書いてみたい」こう思ったことが放送大学に入学する動機の1つでした。放送大学について調べているときに「卒業研究」という科目があることを知り、何を研究したいとかではなく、ただ、研究をして論文（卒論）が書いてみたいと思いました。そして、2016年4月にひとまず科目履修生で入学し、次の学期に3年次編入で情報コースに入学しました。

研究するなら何だろうと考えていたら、その年の冬に「東ロボ」（正式名称：「ロボットは東大に入れるか」）が話題になりました。コンピュータに大学入試問題を解かせる人工知能プロジェクトです。以前から、「数学の問題が解ける」とはどういうことだろう、高校までの学習内容をコンピュータに教えて解かせればそのしくみがわかるのでは、なんてことを考えていたので、東ロボ（の数学部門）は大変興味深く、「コンピュータで数学（高校数学）の問題を解く」に関することを卒業研究のテーマにしたいと思うようになりました。そのまま2年が過ぎたのですが、2018年9月に東ロボの詳しい経緯を書いた本が出版され、その本にあった東ロボの数学部門で用いられたという数式処理の限量子消去（QE）というアルゴリズムを知って、QEに注目することにしました。2020年度に北本卓也先生のご指導で卒業研究することになったのですが、偶然ですが、北本先生は履修申請をするために注目した論文の著者でした。

4月の正式な開始から10月末の卒論提出、12月の卒業審査発表まであっという間でした。具体的なテーマや研究方法も固まらないまま始めてしまった卒業研究でしたが、数式処理システムでいろいろな問題を調べるうちに中心となる具体的なテーマもみつかって、そこを中心に卒論にまとめることにしました。論文執筆や卒論審査発表会用の資料作成では、あれもこれもと詰め込もうとしていたら先生にバツサリ削除されたり、逆に、おまけのようにちょっと書いたことをきちんと書くように言われたりもしたのですが、書き直したら、すっきりとわかりやすいものになり、指導のありがたさを痛感しました。発表も初めてで、冷や汗をかきながら発表練習しました。関係のありそうな論文を片っ端からダウンロードし、よくわからなくても、ちょっとだけでも見てみるということもしたのですが、おかげで論文にアクセスすることが特別なことではなくなりました。これも大きな収穫です。

卒業研究が終わって思ったのは「もっと研究してみたい」でした。いろいろ調べたり考えたりするのは楽しく、また、卒業研究では踏み込まなかった理論的な部分も知りたいという気持ちや、数式処理という分野に対する興味もわいてきました。2021年3月に情報コースを卒業した後は再入学し、現在は自然と環境コースに在籍しています。学生ゼミや学習相談も利用しながら知識と視野を広げていこうと思っています。卒業研究にもまた挑戦してみたいです。

現代は生涯学習だけでなく、「生涯研究」も大切だそうです。卒業研究の履修はそのための最初の一步になりました。小さくてもよいので、何か確実に新しいことを見つけていくのが私の目標です。自分に合った方法を探しながら一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

事務室からのお知らせ

◇ 2022 年度第 1 学期 単位認定試験について

重要

単位認定試験は、インターネットを使用した**Web 受験方式（一部郵送受験方式）**となります。

◆試験期間

7月15日（金）9：00～7月26日（火）17：00（郵送の場合は必着）

◆受験方法

解答時間が残っていても、試験は終了となります。解答は自動提出されます。

【Web 受験方式】



自宅等から、インターネットを通じてWeb 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出（送信）を行います。

試験期間中いつでも受験できます。ただし、**1回のみ**の受験となります。

1科目**50分の制限時間**があり、一時停止はできません。提出ボタンを押さずに制限時間が経過した場合、制限時間経過時点の解答が自動提出されます。

科目ごとに「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」のいずれかの形式で出題されます。出題形式は「授業科目案内」に掲載されています。

【郵送受験方式】



「正多面体と素数（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子化学（'19）」の3科目が対象です。自宅等で問題を閲覧し、解答用紙に解答を記入します。解答用紙を提出用封筒に入れ郵便で提出します。

◆受験前の確認事項

【パスワードの確認】

システムWAKABAにログインするためのログインIDと設定したパスワード（8文字以上の英数字）が必要です。パスワードを忘れた場合は、学生サポートセンター（電話：043-276-5111）または山口学習センター（電話：083-928-2501）へご連絡ください。

【受験票の確認】

6月下旬に発送される「単位認定試験通知（受験票）」で、受験資格（通信指導の可否）を確認してください。7月8日（金）までに届かない場合は、学生サポートセンター（電話：043-276-5111）へご連絡ください。

【体験版の確認】

単位認定試験を円滑にするために、Web 単位認定試験システムの体験版を必ず受験してください。

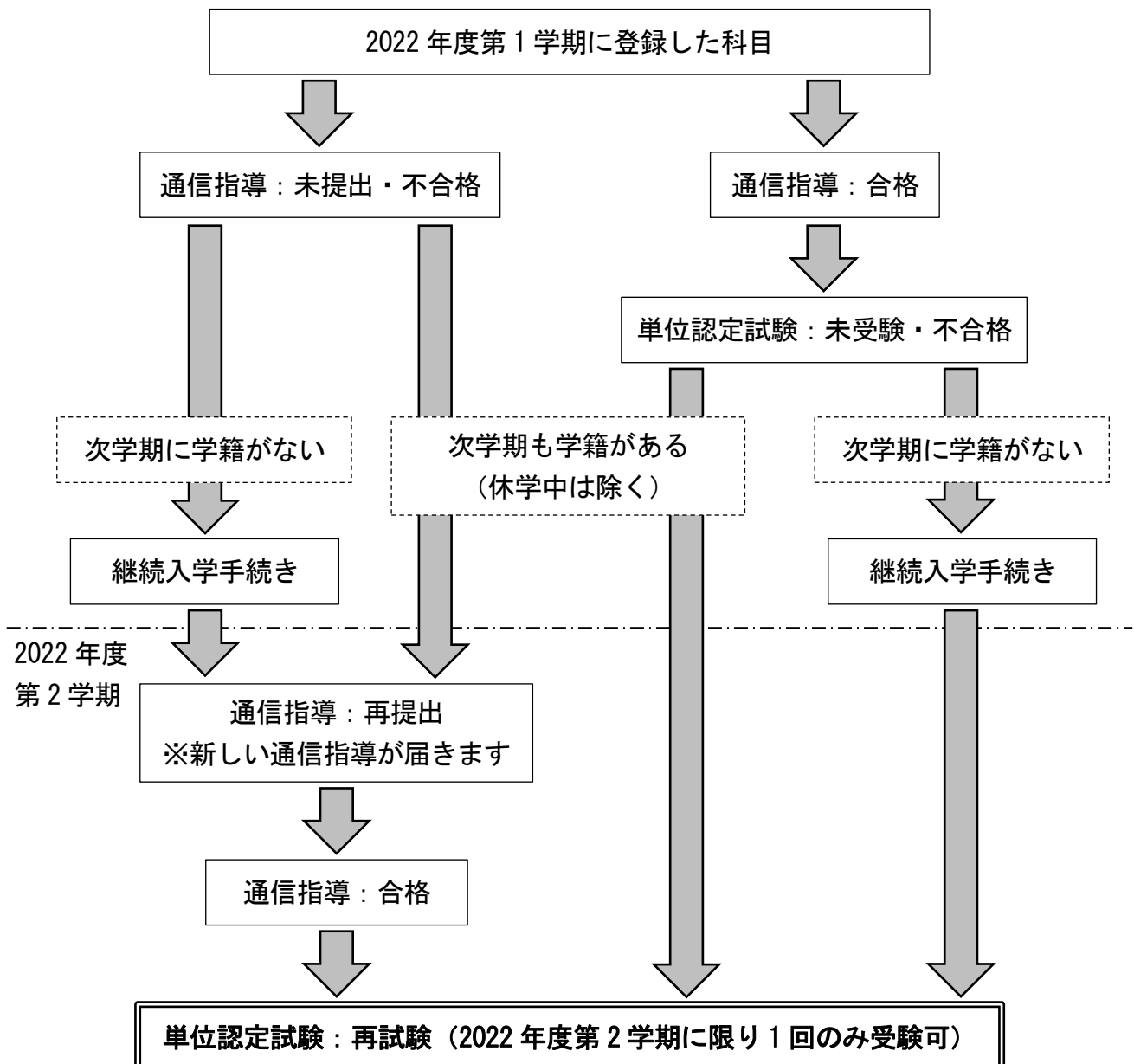
◆試験結果

試験結果は**8月下旬**に大学本部から「成績通知書」によって通知されます。また、システムWAKABAの「履修成績照会」で成績を確認することもできます。この通知書等は証明書ではありません。証明書が必要な場合は、所定の手続きで「成績・単位修得証明書」等の交付を受けてください。

成績区分		
合格	Ⓐ	100点～90点
	A	89点～80点
	B	79点～70点
	C	69点～60点
不合格	D	59点～50点
	E	49点～0点

◆再試験

2022年度第1学期に新規に登録した放送授業科目の単位を修得できなかった場合、**2022年度第2学期に学籍がある場合（休学除く）**に限り、再試験を受けることができます。再試験科目については、あらためて科目登録をする必要がなく、授業料もかかりません。



◇ システムWAKABAについて

🔒 ログイン

➔

ログインID およびパスワードを入力してください

ログインID:

パスワード:

ログイン
クリア

2022 年度第 1 学期に初めて入学され、パスワードの変更をしていない方は、**必ずパスワードの変更**をお願いします。初期パスワードは、入学許可書に記載してありますので、ご確認ください。



前回ログイン日時
2022/05/29 12:16

色・プロフィール設定

🔒 パスワード変更

📧 キャンパスメール

お知らせ

下記の日程でシステムメンテナンスを行います。メンテナンス時間中はシステムは使用できません。

日時： 6月27日 (月) 19時～21時

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。なお、「学内リンク」にあるシステムは本メンテナンスの影響はありません。

学内リンク

- ▶ Web通信指導
- ① ▶ Web単位認定試験
- ▶ オンライン授業
- ▶ 放送授業のインターネット配信
- ② ▶ 過去の単位認定試験問題・解答等
- ▶ 面接授業 (第1学期) のページ
- ▶ 面接授業 (第2学期) のページ
- ▶ 新規開設科目印刷教材 (試し読み)
- ▶ 放送大学自己学習サイト
- ▶ 看護師国家試験学習支援ツール
- ▶ 修士論文閲覧
- ▶ 放送大学附属図書館
- ▶ 学習センター一覧
- ▶ ライブWeb授業
- ▶ 放送大学トップページ

キャンパスライフ

- ▶ 学生カルテ
- ▶ 学生カルテ
- ▶ 変更・異動手続
- ▶ 履修成績照会
- ▶ 履修成績照会
- ▶ 単位認定試験時間割
- ▶ 単位認定試験時間割照会 (学生用)
- ▶ 出願・科目登録申請
- ▶ 科目登録申請
- ▶ 継続入学申請
- ▶ 出願申請進行状況確認

授業サポート

教務情報

住所変更や休学等の手続きができます

履修した科目の成績を確認することができます

科目登録申請、継続入学申請を行う場合はこちらをクリックしてください
出願申請進行状況確認では登録した情報を変更することもできます

①Web単位認定試験

Web単位認定試験

操作ガイドをご確認ください

リンク集

- ⑥操作ガイド(必読)
- よくある質問

2022年度第1学期 単位認定試験

【お知らせ】過去のお知らせ

2022.5.2 システム一部改修のお知らせ

- ・制限時間タイマーが画面スクロールに追従するようになりました
- ・記述式解答入力欄に表示されていた不要なボタンを非表示にしました

はじめに、画面左側の「リンク集」→「⑥操作ガイド(必読)」から、操作ガイドをご確認ください。

Web単位認定試験体験版

科目一覧

Web単位認定試験体験版

2022年度第1学期 日程

Web単位認定試験の利用期間

体験版開始	2021年 12月21日 (火) 10時
単位認定試験期間	2022年 7月15日 (金) 9時 ～

②過去の単位認定試験問題・解答等

科目コード順に表示されています

放送大学

過去の単位認定試験問題・解答等

- ・2021年度第2学期(教養学部)
- ・2021年度第2学期(大学院)
- ・2021年度第1学期(教養学部)
- ・2021年度第1学期(大学院)
- ・2021年度司書教諭資格取得に資する科目

科目コード	科目名称	試験形式	問題	解答・解説・コメント等	リスニング問題・備考
1140027	運動と健康('18)	択一	PDF	PDF	2021/02/17 事後訂正紙追加
1140043	国際理解のために('19)	記述	PDF	PDF	
1140051	問題解決の進め方('19)	択一	PDF	PDF	
1140078	社会と産業の倫理('21)	択一	PDF	PDF	
1140086	市民自治の知識と実践('21)	記述	PDF	PDF	
1150022	日本語アカデミックライティング('17)	択一	PDF	PDF	
1150030	日本語リテラシー('21)	択一	PDF	PDF	
1160010	身近な統計('18)	択一	PDF	PDF	

問題・解答等はPDFファイルになっており、印刷もできます

◇ 山口学習センターウェブサイトについて

山口学習センターのウェブサイトにはいろいろな情報を掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

こちらからもシステムWAKABAにログインできます

放送大学 山口学習センター

HOME | この学習センターについて | スケジュール・授業案内 | 各種お手続き | お問い合わせ

山口学習センター

資料請求(無料)

インターネット 出願

番組表

放送大学サイト

システムWAKABA (在学生向け教務情報)

クイックリンク

- 公開講演会・オープンキャンパス・個別相談会
- 学習相談一覧



教養学部 学生数

区分	人数
全科履修生	423
選科履修生	70
科目履修生	40
特別聴講学生	5
学部計	538

大学院 学生数

区分	人数
修士全科生	1
修士選科生	17
修士科目生	3
博士全科生	1
大学院計	22

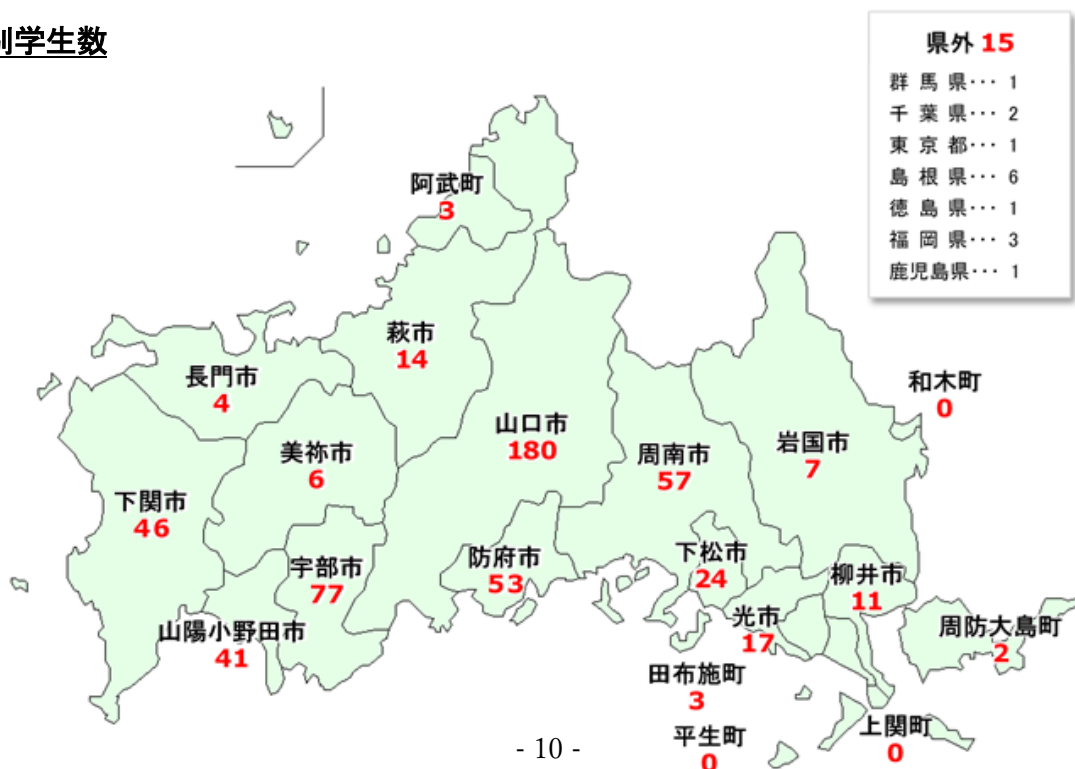
教養学部 登録の多い科目

授業形態別科目名	登録人数
(オンライン授業)	
博物館で学ぶ文化人類学の基礎 (' 20)	10
看護・医療の英語 (' 19)	8
演習初歩からの数学 (' 20)	8
(放送授業)	
心理学概論 (' 18)	41
感情・人格心理学 (' 21)	27
日本語リテラシー (' 21)	26
認知症と生きる (' 21)	25
ビートルズ de 英文法 (' 21)	24
教育・学校心理学 (' 20)	21

大学院 登録の多い科目

授業形態別科目名	登録人数
(オンライン授業)	
臨床推論 (' 16)	2
フィジカルアセスメント特論 (' 16)	2
統合臨床病態生理学・疾病概論 (' 19)	2
(放送授業)	
教育文化の社会学 (' 17)	4
教育心理学特論 (' 18)	3
臨床心理面接特論 I (' 19)	3
発達心理学特論 (' 21)	3
スポーツ・健康医科学 (' 19)	2
教育行政と学校経営 (' 20)	2
カリキュラムの理論と実践 (' 21)	2

地域別学生数



◇ 2022 年度第 2 学期 科目登録申請／継続入学について

◆科目登録申請 — 次学期も学籍が続く方 —

7月中旬に大学本部から、『2022年度第2学期科目登録申請要項』等の資料が送付されます。届いた資料をよくご覧のうえ、2022年度第2学期に履修したい科目（放送・面接・オンライン授業）を下記の期間中に郵送、またはシステムWAKABAで申請してください。

【郵送による申請期間】

2022年8月15日（月）～8月30日（火）【私書箱必着】

「科目登録申請票」に必要事項を記入し、郵送

【システムWAKABAによる申請期間】

2022年8月15日（月）9：00～8月31日（水）24：00

システムWAKABAへログイン → 教務情報 → 科目登録申請

※教養学部全科履修生は、休学機関を除き4学期間続けて科目登録が行われていない場合、除籍となります。3学期間科目登録をしていない方は、必ず科目登録を行ってください。

◆継続入学について — 今学期で在学期間が終了する方 —

7月中旬に大学本部から、『募集要項』が送付されます。「学生生活の葉」等を必ず参照の上、2022年度第2学期に入学を希望される方は、下記期間内に出願をお願いします。**卒業見込みの方**は、7月中旬に本部から再入学の案内文書が送付されます。「募集要項」は希望した方のみ送付されます。

【面接授業を登録する方】

2022年8月15日（月）9：00～8月31日（水）24：00

必ずこの期間にシステムWAKABAで出願してください。その際、面接授業のみの科目登録はできませんので、放送授業またはオンライン授業を1科目以上登録する必要があります。

【面接授業を登録しない方】

2022年6月10日（金）～2022年8月31日（水）

2022年9月1日（木）～2022年9月13日（火）【私書箱必着】

郵送、またはシステムWAKABAで出願してください。

募集要項が必要な方は山口学習センターへご連絡ください。

◇ 2022 年度第 2 学期学生募集 ～ご協力のお願い～

皆さんの家族・友人・知人に、ぜひ放送大学への入学をお薦めください。お名前・ご住所等を教えていただければ、無料で学生募集要項等を送付します。入学相談を随時行っています。詳しくは、山口学習センターまでお問い合わせください。

募集学生種	出願受付期間（郵送・Web）
教養学部 大学院 （修士選科生・修士科目生）	【第 1 回】2022 年 6 月 10 日（金）～ 2022 年 8 月 31 日（水） 【第 2 回】2022 年 9 月 1 日（木）～ 2022 年 9 月 13 日（火）

※募集要項は下記からご請求いただけます

- ・山口学習センター ☎ 083-928-2501
- ・資料請求専用ダイヤル ☎ 0120-864-600
- ・放送大学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp/>
- ・資料請求のページ



◇ 図書・視聴学習室より

◆利用時間

図書・視聴学習室のご利用は、午前・午後どちらかの利用としていましたが、今後は1日の利用を再開します。ご利用の際は、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのご理解とご協力をお願いいたします。

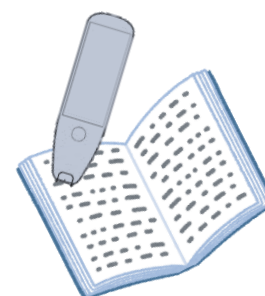
9：30～17：00（12：00～13：00は閉室）

放送授業を視聴される場合は**16：00までに入室**ください。

◆翻訳機器の貸出

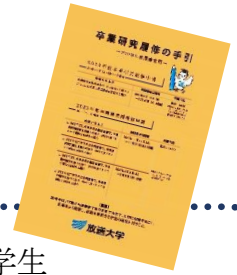
ペン型スキャナー翻訳機を購入しましたので、貸し出しを開始します。卒業研究や修士論文を書かれる方はぜひご活用ください。発音も学ぶことができます。なお、ご利用は図書・視聴学習室のみとなります。室外の持ち出しはできません。

貸し出しを希望される方は、事務室へお問い合わせください。



◇ 卒業研究をご希望の方へ

山口学習センター所属の全科履修生で、来年度（2023年度）に卒業研究の履修を希望する方を対象に『卒業研究履修の手引—2023年度履修者用—』を配布しています。



対 象

全科履修生で、2年以上在学し、62単位以上修得した学生（3年次編入学者は2年在学したものとみなします。）

申請書提出期間

2022年8月12日(金)～8月18日(木)

ガイダンス資料

システムWAKABA >キャンパスライフ >学内関連 >学習案内
放送大学附属図書館ウェブサイト内「リブナビ・リブナビプラス」

そ の 他

指導教員に近隣大学等の教員を希望する学生は、申請書の提出前に所長面談が必須となります。卒業研究申請書の原案または下書きを準備してください。所長面談を希望される場合は電話で早めの予約をお願いします。

所長面談期限：7月31日(日)

◇ 山口大学特別聴講生の募集

放送大学は、山口大学と単位互換協定を締結しています。放送大学の学生は、授業料（入学金免除）のみで山口大学で開設される授業科目を履修できます。修得した単位は、放送大学の単位として認定されます。

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている方になります。

- ① 全科履修生
 - ② 本学の在学年数が1年以上の者
 - ③ 放送授業科目において30単位以上を修得した者
- ※単位互換校へ通学可能な学生を募集の対象とします

山口大学の授業科目（シラバス）は山口大学ウェブサイト（<http://www.yamaguchi-u.ac.jp>）から確認できます。

ただし、すべての科目が受講できるわけではありません。

履修を希望される方は、2022年7月26日（火）までに事務室へお問い合わせください。

◇ インターンシップ参加者募集

山口学習センターでは、インターンシップの参加者を募集します。
インターンシップは、学生の皆さんが仕事（就職）や会社を学ぶ機会です。大学での学びを明確にするために、自身のキャリアを高めるため、大いにご活用ください。

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 【申込期間】 | 2022年7月1日（金）～7月10日（日） |
| 【対象者】 | 29歳までの全科履修生 |
| 【その他】 | ①事前研修会に参加できる方
②電話での相談も可能 |

◇ 美術館キャンパスメンバーズ



山口学習センターは、県立美術館（山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館）が実施する「美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入しました。加入している機関の学生、教職員が当該美術館の普通展示および企画展示（山口県美術展覧会、山口伝統工芸展を除く）を無料で何度でも鑑賞できる制度です。

利用する際は、学生証の提示が必要となります。

学生証を受け取っていない方や有効期限が切れている学生証をお持ちの方は山口学習センターで交付または交換をお願いします。

◇ 行事案内

～ 2022年度1学期学位記授与式 ～

【日時】 2022年9月25日（日）
10:30～

【場所】 山口大学 大学会館

～ 2022年度第2学期入学者の集い ～

【日時】 2022年9月25日（日）
13:00～

【場所】 山口大学 大学会館

◇ 着任のご挨拶

事務職員 みやじ さとし
宮地 理

4月から事務職員として勤務しています、宮地と申します。

教務担当として、面接授業をはじめ、学生の皆様の様々な学習活動のサポートをさせていただきます。前職は博物館で骨格標本の展示などを行っていたので、大学の仕事は不慣れな上に高齢で物忘れも進みつつありますが、一日も早くお役に立てるよう努力してまいります。

白髪頭を見つけたらお声をおかけください。どうぞよろしくお願い致します。

7月～9月のスケジュール

(2022年6月26日現在)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。

7月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

18日 閉所日 (海の日)
22日 閉所日 (特別)

【単位認定試験】

★15日9:00～26日17:00 (郵送受験方式は必着)

【面接授業】

- 2・3日 心理学実験1
- 9・10日 微細藻類の生物学

8月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 11日 閉所日 (山の日)
12日 閉所日 (特別)
13日 閉所日 (特別)
14日 閉所日 (特別)
15日 2022年度第2学期科目登録受付開始
(郵送: ~8月30日 私書箱必着
システムWAKABA: ~8月31日24:00)
2023年度修士全科学出願受付開始
(~8月26日消印有効)
2023年度博士後期課程出願受付開始
(~8月26日消印有効)
17日 通信指導提出期限 (司書教諭)
31日 第2学期第1回学生募集出願受付終了

9月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

- 1日 第2学期第2回学生募集出願受付開始
(~9月13日)
19日 閉所日 (敬老の日)
23日 閉所日 (秋分の日)
25日 2022年度第1学期学位記授与式
2022年度第2学期入学者の集い
図書・視聴学習室 閉室

■ 閉所日 ○ 面接授業 □ 単位認定試験

編集後記

7月中旬からいよいよ単位認定試験が始まります。以前よりお知らせしておりますが、今年度よりWeb上での受験となりますので、ご注意くださいようお願い申し上げます。梅雨に入り、蒸し暑い日が続きますが、体調管理に気をつけて試験に臨んでください。最後に、お忙しい中原稿をお寄せくださいました皆さま、ありがとうございました。